

平成 27 年度

教育委員会の活動状況等に  
関する点検・評価報告書

平成28年9月

黒松内町教育委員会

# 目 次

## はじめに

I 点検及び評価の趣旨	1
II 点検及び評価の概要	2
III 点検及び評価に関する実施方針	5

## 第1章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の会議の開催・審議状況	9
2 規則・要綱等の制定及び改正等	12
3 教育委員の活動状況	13
4 教育功労者等の表彰	15

## 第2章 平成27年度事務・事業の点検及び評価

1 子供の心を育てる学校教育	
(1) 「生きる力」の育成	
① 全国学力・学習状況調査	18
② 学習支援員(特別支援教育補助員)派遣事業	19
③ 学校ICT環境整備事業	20
(2) 地域と共にある教育の推進	
① 総合的な学習推進事業	21
② 国際交流協力員活動事業	22
③ 食育振興事業	23
④ 学校給食センター施設等整備事業	24
⑤ 小規模学校教育力調査研究事業	25
⑥ 世界文化遺産・西予市交流体験学習事業	26
(3) 負託に応える学校づくり	
① 教職員の資質能力の向上事業	27
② 学校施設整備事業	28
③ 学校関係者評価事業	29

2	子供の未来をはぐくむ家庭教育	
	(1) 子供の穏やかな成長を支える体制づくり	
	① 保育・放課後児童対策事業	30
	② 母子保健推進・子ども子育て相談支援事業	31
3	豊かな地域をつくる生涯学習	
	(1) 生涯学習の推進	
	① 家庭教育への支援事業	32
	② 地域教育力の活性化事業	33
	③ 青少年教育の充実事業	34
	④ 地域コミュニティー振興事業	35
	(2) 文化振興の推進	
	① 文化・芸術活動の推進事業	36
	② 文化財の保存、活用事業	37
	③ ふれあいの森情報館活動事業	38
	④ ブナセンター活動事業	39
	(3) 生涯スポーツの振興と健康づくり	
	① 生涯スポーツの推進事業	40
	② 町民体育館改修等整備事業	41
	③ キャンプ場活動事業	42
4	全体評価	43

## 参考資料

1	教育委員会組織機構図	49
2	教育関係予算の状況	50
3	学校の児童生徒・教職員数	52
4	各施設利用者数	
	(1) 総合町民センター	53
	(2) ふれあいの森情報館	53
	(3) ミニビジターセンター	53
	(4) 各運動施設	54
	(5) ブナセンター	55
	(6) オートキャンプ場	55

# は じ め に

## I 点検及び評価の趣旨

昨今の地方教育行政を取り巻く状況は、教育基本法の改正に始まり、学習指導要領の改正、教育における地方分権の推進、そして教育委員会制度改革など、大きな転換期を迎えています。

本町においては、新教育委員会制度に基づく教育長が、平成27年10月に町議会の同意を得て、再任の任命がされました。また、総合教育会議が7月に設置され、12月には教育大綱を、3月にはいじめ防止基本方針を策定しました。

黒松内町教育委員会では、教育基本法の趣旨を踏まえ、「生きる力」の基礎となる「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」の調和の取れた教育、及び「ふれあい、学びあい、支えあい」の多様な生涯学習活動を学校・家庭・地域の緊密な連携を大切にしながら、具体的な施策・事業を町の第3次総合計画に位置付け取り組んでいるところです。

平成18年12月の教育基本法の改正及び平成19年3月の中央教育審議会の答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部が改正され、平成20年4月から施行、全ての教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

そのため、本町としても、同法第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様に対する説明責任を果たすため、平成20年度から「教育委員会の活動状況等に関する点検・評価」を実施し、報告書に取りまとめ公表しております。

今年度の点検・評価は、「平成27年度教育行政執行方針」に掲げた主要な事務・事業について、PDCA（計画・実施・点検・改善）サイクルの理念に基づき検証いたしました。

今後も、この点検・評価による事業効果等の検証を行うことで、課題や対応方向を明らかにするなど継続的な業務の改善を図りながら、本町ならではの特色ある教育行政の推進に努めてまいりますので、町民の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いします。

平成28年9月

黒松内町教育委員会

## II 点検及び評価の概要

### 1 実施の目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、全ての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会であります。

その特性は、専門的な行政官で構成される事務局を多様な属性を持った複数の委員による合議により、専門家の判断のみによらない、広く地域住民の意向を反映した教育行政を実現するものです。

事務・事業の点検及び評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、教育委員会が、教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）を実施することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすことを主な目的とするものです。

### 2 点検及び評価の対象

本年度の点検及び評価の対象事業等は、これまでの考えに基づき、平成27年度分の事業実績としました。

その対象範囲は、学校での学習指導・生徒指導に関することや社会教育に関することなど地教行法第23条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、町長の補助執行として行っている事務を含む、町教育委員会が所管する全ての事務としています。

事業のまとめ方については、「平成27年度教育行政執行方針」に基づき、町教育委員会が実施した主な施策・事業等を網羅する形で対象事業を選定しました。

### 3 点検及び評価の方法

点検及び評価に当たっては、施策・事業の進捗状況を明らかにするとともに、課題等を分析し、今後の方向性を示しています。

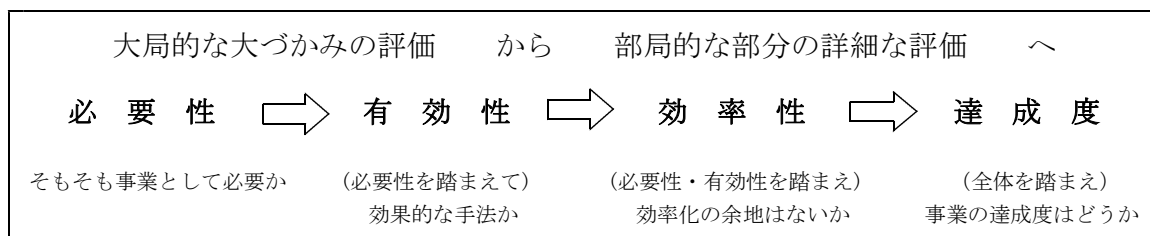
点検及び評価は、各事務事業の概要、点検による成果・課題等を基に、「必要性」、「有効性」、「効率性」及び「達成度」といった分析評価により事務事業の評価を行いました。

次に、その結果を踏まえ、「事業の規模」及び「手法の改善」という二つの観点から、当該事務事業の「今後の取組方向」を判断しました。

なお、「事業の評価」と「今後の方向性」の2段階に分けることにより、「大局から部局へ」、「現在の評価から今後の方向性へ」と、点検及び評価の論理的な流れを分かりやすくしています。

(1) 評価項目について

評価項目	検討の対象	検討の観点
必要性	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民のニーズや社会情勢に適合しているか</li> <li>・町が事業を行う必要があるか（民間、国・道等が実施すべき事業ではないか）</li> </ul>
有効性	事業の目的と手法（事業内容）の関係（手法選択の理念）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的に照らして効果的な手法か</li> <li>・成果は、十分に上がっているか（事業目的に照らして効果的な手法であれば成果は上がるはずであり、効果的な手法か否かの客観性を確保するためには、成果を踏まえる必要がある）</li> </ul>
効率性	事業のコスト及びコストと成果の関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費削減の取り組みは十分か</li> <li>・人件費削減の取り組み（委託・IT化等を含む）は十分か</li> </ul>
達成度	町民理解と目的、目標との関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の理解や満足度が得られているか</li> <li>・目的、目標を達しているか</li> </ul>



(2) 評価基準について

評価項目それぞれについて、「高い」、「やや高い」、「やや低い」、「低い」の4段階で評価することとしています。

この4段階の基準については、(1)に示した「検討の観点」（各項目二つずつ）を踏まえ、概ね次のとおりとしました。

評価の段階	概ねの基準
高い	両方の検討の観点について優れている
やや高い	どちらかの検討の観点について優れている
やや低い	どちらかの検討の観点について劣っている
低い	両方の検討の観点について劣っている

(3) 「事業の評価」と「今後の方向性」との関連について

「事業の評価」を踏まえた「今後の方向性」については、予算等の投入したコスト等の物理的規模について判断する「事業規模」の項目と、手法の在り方について判断する「手法の改善」の項目に分割し、それぞれ4段階で判断しました。

「事業規模」、「手法の改善」の各判断項目と、「事業の評価」と各項目との関連及び判断基準については、概ね次のとおりとしました。

判断項目	「事業の評価」の 各項目との関連	判断の段階	概 ね の 基 準
事業規模	主に 必要性・有効性 が関連	拡 充	必要性・有効性とも高い事業であり、今後、規模を拡充し重点的に取り組むべきである。
		維 持	必要性がやや高く、有効性も低くない事業で有り、現在の規模を維持するべきである。
		縮 小	必要性が比較的低い、又は有効性が低い事業であり、規模を縮小すべきである。
		休 廃 止	必要性が低い、又は必要性がやや低く、有効性が低い事業であり、休廃止すべきである。
手法の改善	主に 有効性・効率性 が関連	維 持	有効性・効率性とも高い事業であり、現在の手法を維持すべきである。
		軽微な改善	有効性がやや高く、効率性も低くない事業であり、概ね現在の手法で問題はないが、軽微な改善を行うべきである。
		抜本的改善	有効性がやや低い、又は効率性が低い事業であり、手法の抜本的な改善を行うべきである。
		休 廃 止	有効性が低い、又は有効性がやや低く、効率性が低い事業であり、休廃止すべきである。

### Ⅲ 点検及び評価に関する実施方針

#### 教育関係事務・事業の点検及び評価に関する実施方針

平成21年4月23日教育委員会決定

改正 平成26年6月10日

#### 1 趣旨

黒松内町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する規則（平成21年教育委員会規則第4号）第4条の規定に基づき、この実施方針を定める。

#### 2 基本的な方針

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）が改正され、教育委員会が所管している事務の執行状況等について、自己点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することとされた。

そこで、当教育委員会としては、P・D・C・Aサイクル（＊）の手法を用いた事務の点検及び評価を行い、今後の施策展開の基本的な考え方や方向性などを明らかにすることにより、効果的な教育行政の推進に資する。

#### 3 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育委員会の活動状況に関する現状と課題
- (2) 教育行政執行方針に掲げる各種施策の実施及び達成の状況
- (3) その他点検及び評価を行うことが必要と認められる事務の実施及び達成の状況

#### 4 点検及び評価の時期

点検及び評価は、毎年、前年度に実施した施策の達成状況等を分析するものとする。

#### 5 点検及び評価の実施方法

- (1) 教育行政執行方針に掲げる各種施策及び主要な事業について、点検・評価調書（別記様式1）を作成する。
- (2) 教育長は、担当者が作成した点検・評価調書を基に、点検及び評価に関する報告書をまとめ、教育委員会の会議に付する。
- (3) 点検及び評価の結果については、重点施策の展開、予算編成、事務事業の見直し等の事務改善など、教育行政のあらゆる分野に反映させるものとする。
- (4) 点検及び評価を行うにあたっては、客観性を確保するため、教育に関する学識経験を有する者の意見を聞くことができるものとする。

#### 6 点検及び評価に関する情報の公表

点検及び評価結果に関する情報については、議会への報告（6月又は9月）のほか、町民が容易に入手できる方法で公表するものとする。

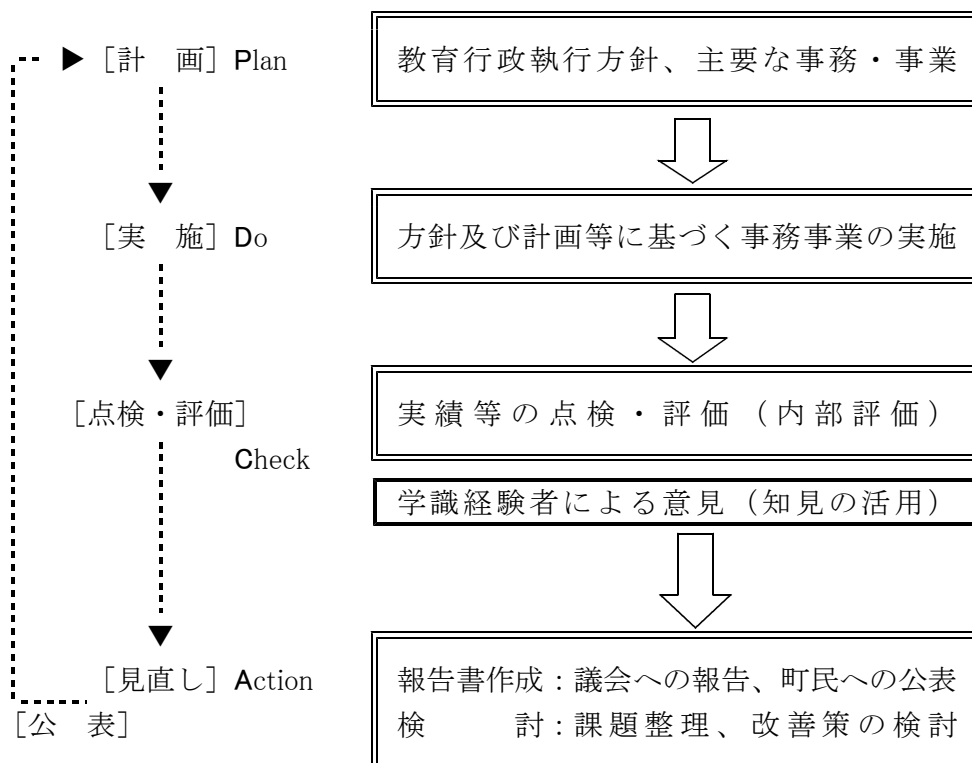


## \* P・D・C・A サイクルとは？

Plan（計画）、Do（実施、実行）、Check（点検、評価）、Action（改善）の4段階のプロセスを順に実施する。

最後のActionを次のPlanに結び付けつつ、このプロセスを繰り返し実施することで、継続的な業務改善を推進していくためのマネジメント手法のことをいう。

### \* 点検・評価の流れ



別記様式1

点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)				項目番号	
事業費		千円	担当		
事務事業の概要	目的				
	実績				

点 検 ・ 評 価	成果					
	課題 (問題)					
	評 価	必要性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の 取組方向 (改善点等)				

そ の 他	
-------------	--

## 第1章 教育委員会の活動状況

### 第1章のポイント

教育委員会の会議の開催や審議内容、規則・要綱の制定や改正の状況、教育委員会が行った主な活動状況、教育関係者等に対する表彰などを整理しています。

## 1 教育委員会の会議の開催・審議状況

黒松内町教育委員会の会議は、黒松内町教育委員会会議規則（昭和31年教育委員会規則第1号）第4条の規定に基づき招集し、開催しています。

この会議において、5名（平成27年10月1日以降は4名）の黒松内町教育委員会教育委員が教育行政の基本方針の決定、教育に関する規則・要綱など、様々な議題について審議をしています。

開催期日	付議案件等
27. 4. 22 (平成27年第3回)	(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度黒松内町立小中学校の主任等の命課について</li> </ul> (議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒松内町合同学校関係者評価委員の委嘱について</li> <li>・平成27年度要保護・準要保護世帯の認定について</li> <li>・平成27年度第4地区教科書採択教育委員会協議会委員及び委員代理の選出について</li> <li>・平成27年度黒松内町一般会計補正予算（第1回）について</li> </ul>
27. 6. 5 (平成27年第4回)	(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行の引率業務等に従事する黒松内町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について</li> <li>・平成26年度黒松内町教育委員会における人事行政の運営等の状況について</li> <li>・平成27年度要保護・準要保護世帯の認定及び認定取消について</li> </ul> (議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度黒松内町一般会計補正予算（第2回）について</li> </ul>
27. 7. 3 (平成27年第5回)	(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村立学校職員の平成27年6月期における勤勉手当の成績区分の内申について</li> <li>・平成27年度黒松内町一般会計補正予算（第3回）（専決処分）について</li> </ul> (協議) <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒松内町総合教育会議設置要綱について</li> </ul>
27. 8. 31 (平成27年第6回)	(報告) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度黒松内町一般会計補正予算（第5回）（専決処分）について</li> <li>・平成27年度黒松内町一般会計補正予算（第6回）について</li> </ul> (議案) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度黒松内町教育委員会の活動状況等に関する点検・評価について</li> <li>・平成28年度に使用する小学校用教科用図書の採択について</li> <li>・平成28年度に使用する中学校用教科用図書の採択について</li> <li>・平成27年度黒松内町一般会計補正予算（第7回）について</li> </ul>

開催期日	付議案件等
27. 9. 25 (平成27年第7回)	(報告) ・黒松内町通学費(通級指導教室)補助金交付要綱を廃止する訓令の制定について ・黒松内町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について(議案) ・黒松内町指定文化財(指定保存木)の指定の解除について ・平成27年度黒松内町一般会計補正予算(第8回)について(協議) ・平成27年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告」への市町村別結果の掲載について
27. 10. 22 (平成27年第8回)	(報告) ・黒松内町教育委員会教育長職務代理者の指名について ・黒松内町教育委員会職員の懲戒理由報告について ・平成27年度全国学力・学習状況調査結果の概要について(議案) ・黒松内町教育委員会職員の処分考査について ・平成27年度準要保護世帯の認定について
27. 11. 27 (平成27年第9回)	(報告) ・学校職員の事故(交通違反)報告について ・学校職員の処分内申について ・学校職員の懲戒処分について ・市町村立学校職員の平成27年12月期における勤勉手当の成績区分の内申について(議案) ・黒松内町教育委員会職員の処分について ・平成27年度黒松内町一般会計補正予算(第10回)について(協議) ・平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告」への市町村別結果の掲載について
27. 12. 25 (平成27年第10回)	(報告) ・黒松内町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案) ・平成28年度教育行政執行方針の骨子(案)について ・黒松内町就学援助事務実施要綱の一部改正について
28. 1. 25 (平成28年第1回)	(報告) ・市町村立学校職員の平成28年1月1日付け昇給における成績区分の内申について(議案) ・黒松内町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について ・平成27年度準要保護世帯の認定について ・黒松内町立学校就学指定校の変更許可について

開催期日	付 議 案 件 等
<p>28. 3. 2 (平成28年第2回)</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒松内町立学校就学指定校の変更許可について</li> <li>・平成27年度準要保護世帯の認定について</li> <li>・平成27年度黒松内町一般会計補正予算(第12回)について</li> <li>・黒松内町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例の制定について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度黒松内町一般会計補正予算(第13回)について</li> <li>・平成28年度教育行政執行方針について</li> <li>・平成28年度黒松内町一般会計教育関係予算について</li> <li>・黒松内町体育館条例及び黒松内町武道館条例を廃止する条例の制定について</li> <li>・黒松内町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する等の規則の制定について</li> <li>・黒松内町教育委員会の公印に関する規程の一部を改正する訓令の制定について</li> <li>・平成28年度黒松内町立小中学校校長・教頭の人事異動について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度黒松内町立小中学校の卒業式について</li> <li>・平成28年度黒松内町立小中学校の入学式について</li> </ul>
<p>28. 3. 22 (平成28年第3回)</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒松内町議会総務経済常任委員会所管事務の調査報告について</li> <li>・平成28年度黒松内町立小中学校教職員の人事異動について</li> <li>・平成28年度学校職員の採用について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒松内町文化財保護委員の委嘱について</li> <li>・黒松内町立学校職員の評価に関する実施要綱を廃止する訓令の制定について</li> <li>・黒松内町立学校職員の評価結果に対する苦情の申出及びその取扱い要綱の一部を改正する訓令の制定について</li> <li>・黒松内町教育委員会事務局職員の人事異動について</li> <li>・平成27年度黒松内町教育功労者表彰の選考について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度黒松内町立小中学校の入学式について</li> </ul>

## 2 規則・要綱等の制定及び改正等

平成27年度中に制定・改正等された教育委員会規則の件数は1件、教育委員会訓令の件数は7件となっています。

### (1) 教育委員会規則

番 号	題 名	公布年月日	施行年月日
(28年) 第 1 号	・黒松内町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する等の規則	H28. 3. 18	H28. 4. 1

### (2) 教育委員会訓令

番 号	題 名	公布年月日	施行年月日
(27年) 第 4 号	・黒松内町通学費（通級指導教室）補助金交付要綱を廃止する訓令	H27. 9. 9	H27. 9. 9
第 5 号	・黒松内町特別支援教育就学奨励費支給要綱を制定する訓令	H27. 9. 10	H27. 9. 10
第 6 号	・黒松内町就学援助事務実施要綱の一部を改正する訓令	H27. 12. 25	H27. 12. 25
(28年) 第 1 号	・黒松内町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部を改正する訓令	H28. 2. 22	H28. 4. 1
第 2 号	・黒松内町教育委員会の公印に関する規程の一部を改正する訓令	H28. 3. 18	H28. 4. 1
第 3 号	・黒松内町立学校職員の評価に関する実施要綱を廃止する訓令	H28. 3. 23	H28. 4. 1
第 4 号	・黒松内町立学校職員の評価結果に対する苦情の申出及びその取扱い要綱の一部を改正する訓令	H28. 3. 24	H28. 4. 1

### 3 教育委員の活動状況

教育委員は、教育委員会の会議に出席するほか、町立小中学校の入学式・卒業式への参列、教育委員研修会への参加などの活動をしています。

#### 【主な活動状況】

日 付	活 動 内 容	委 員 名
4月 2日 (木)	平成27年度教職員辞令交付式	池田委員長・小林委員 成田委員・岡久委員
4月 6日 (月)	黒松内小学校入学式	池田委員長・小林委員 成田委員・岡久委員
4月 7日 (火)	白井川中学校入学式	小林委員・成田委員 岡久委員
	黒松内中学校入学式	池田委員長・小林委員 岡久委員
5月22日 (金)	後志町村教育委員会協議会総会	池田委員長
5月29日 (金)	黒松内中学校陸上競技大会	小林委員・岡久委員
6月 6日 (土)	黒松内小学校運動会	池田委員長・小林委員 岡久委員
6月 7日 (日)	白井川小学校・白井川中学校合同運動会	池田委員長・小林委員 岡久委員
6月 8日 (月) ～12日 (金)	平成27年黒松内町議会第2回定例会	池田委員長
6月10日 (水)	黒松内中学校・白井川中学校合同修学旅行報告会	池田委員長
6月29日 (月)	教育委員会学校訪問①	池田委員長・小林委員 岡久委員
7月 3日 (金)	教育委員会学校訪問②	池田委員長・小林委員 成田委員
7月 9日 (木)	北海道市町村教育委員研修会	
7月10日 (金)	黒松内町戦没者追悼式	池田委員長・成田委員
7月17日 (金)	平成27年度第1回総合教育会議	池田委員長・小林委員 成田委員
8月 8日 (土)	黒松内町成人式	池田委員長・小林委員
8月20日 (木)	平成27年黒松内町議会第2回臨時会	池田委員長
8月20日 (木) ～21日 (金)	平成26年度決算特別委員会	池田委員長



日 付	活 動 内 容	委 員 名
9月 7日 (月) ～11日 (金)	平成27年黒松内町議会第3回定例会	池田委員長
9月25日 (金)	平成27年度第2回総合教育会議	池田委員長・小林委員 成田委員・岡久委員
10月29日 (木)	後志町村教育委員会教育委員研修会	池田委員・小林委員 成田委員・岡久委員
11月 3日 (火)	平成27年度文化・スポーツ表彰授与式	池田委員・小林委員 成田委員
11月 4日 (水)	平成27年度黒松内町表彰式	池田委員・小林委員
11月13日 (金)	町内小中学校音楽交歓会	池田委員・小林委員 成田委員
11月27日 (金)	平成27年度第3回総合教育会議	池田委員・小林委員 成田委員・岡久委員
11月27日 (金) ～28日 (土)	黒松内町校長会・教育委員合同研修会	池田委員・小林委員 成田委員・岡久委員
12月 4日 (金)	黒松内小学校・黒松内中学校後志道徳教育研究会実践交流会	池田委員・小林委員 成田委員・岡久委員
12月25日 (金)	平成27年度第4回総合教育会議	池田委員・小林委員 成田委員・岡久委員
3月 2日 (水)	平成27年度第5回総合教育会議	小林委員・成田委員 岡久委員
3月 8日 (火)	平成27年度子ども会議	小林委員・岡久委員
3月15日 (火)	黒松内中学校卒業式	池田委員・成田委員 岡久委員
	白井川中学校卒業式	(内山教育長)
3月19日 (土)	黒松内小学校卒業式	池田委員・小林委員 成田委員・岡久委員
3月24日 (木)	白井川小学校卒業式	池田委員・小林委員

注1：上記のほか、各小中学校の学芸会や学校祭、授業参観へも出席。

2：教育委員会会議を除く。

3：教育長を除く。

#### 4 教育功労者等の表彰

教育委員会では、黒松内町教育功労者表彰規則（平成2年教育委員会規則第3号）を制定し、本町の教育、文化、スポーツ等に顕著な功績があった個人又は団体を表彰しています。

平成27年度の教育功労者表彰者は2名で、平成28年4月4日に表彰式を実施しました。

##### 【黒松内町教育功労者表彰規則抜粋】

（表彰）

第2条 表彰は、次の各号に該当すると認められる個人又は団体をこの規則に定めるところにより表彰する。

- （1） 町の教育、文化、スポーツ等の振興に貢献した者
- （2） 町の教育機関に多額の金品を寄贈した者
- （3） 第1号に係る団体の長として連続10年以上その職にあった者

#### 黒松内町教育功労者表彰一覧

NO. 1

<b>【平成3年度被表彰者】</b>			<b>【平成10年度被表彰者】</b>		
氏名	職	該当条項	氏名	職	該当条項
谷口英夫	黒小教諭	第2条第1項	坂井弘治	黒中校長	第2条第1項
<b>【平成5年度被表彰者】</b>			板坂吉浩	中中教諭	第2条第1項
氏名	職	該当条項	<b>【平成13年度被表彰者】</b>		
高橋恭雄	無職	第2条第2項	氏名	職	該当条項
荻野正	黒中教諭	第2条第1項	国寄徳也	無職	第2条第2項
石村賢三	黒小教諭	第2条第1項	山崎徹也	黒中教諭	第2条第1項
<b>【平成6年度被表彰者】</b>			黒松内中学校	—	第2条第1項
氏名	職	該当条項	中ノ川小中学校	—	第2条第1項
奈良正幸	公務員	第2条第1項	<b>【平成14年度被表彰者】</b>		
<b>【平成9年度被表彰者】</b>			氏名	職	該当条項
氏名	職	該当条項	加藤美佐子	黒小校長	第2条第1項
中村勝美	熱小校長	第2条第1項	新井融	白小教頭	第2条第1項
			芥藤裕	無職	第2条第1項

## 【平成15年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
二階堂 則 雄	黒中校長	第2条第1項

## 【平成16年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
横 澤 善 秋	中小中校長	第2条第1項
西 嶋 俊 朗	白中校長	第2条第1項
伊 藤 篤	団体職員	第2条第1項
佐 藤 晴 美	団体職員	第2条第1項

## 【平成17年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
太 田 茂	黒小校長	第2条第1項
横 山 光	中中教諭	第2条第1項
長 谷 通 史	歯科診療所長	第2条第1項

## 【平成18年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
故 長谷川幸男	白小教諭	第2条第1項
山 本 光 廣	白小校長	第2条第1項
上 平 敏 和	中小中校長	第2条第1項
高 橋 護 一	無 職	第2条第1項

## 【平成19年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
榎 井 孝	黒中校長	第2条第1項

## 【平成20年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
南後志法人会黒松内地区会	—	第2条第2項
黒松内建設協会	—	第2条第2項
古 谷 智佐子	黒小校長	第2条第1項
日 村 一	白中校長	第2条第1項
高 野 秀 樹	黒中教頭	第2条第1項

## 【平成21年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
檜 伊佐夫	白小校長	第2条第1項

## 【平成22年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
長谷川 誠	黒中校長	第2条第1項
佐 竹 ひろみ	黒中教諭	第2条第1項
織 川 富 治	無 職	第2条第1項

## 【平成23年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
丸 口 弘 之	黒中教諭	第2条第1項
黒松内町ライオンズクラブ	—	第2条第2項

## 【平成25年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
小 川 末 子	無 職	第2条第3項
故 菅原 久光	会社役員	第2条第3項

## 【平成27年度被表彰者】

氏名	職	該当条項
藤 原 正	無 職	第2条第1項
我 妻 一 子	自 営 業	第2条第1項

## 第2章 平成27年度事務・事業の点検及び評価

### 第2章のポイント

「平成27年度教育行政執行方針」に沿った、7項目25の事務・事業について、点検及び評価を行っています。

具体的には、それぞれの取組における事業効果や課題などを客観的に分析したうえで、今後の取組方法等を整理しており、執行方針に関する最終的な評価を行ったものです。

# 1 子供の心を育てる学校教育

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	「生きる力」の育成 全国学力・学習状況調査		項目番号	1-(1)-①
事業費	－ 円	担当者	学校教育	
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各町村教委、学校等において、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、その取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。</li> <li>○ 各学校が、各児童・生徒の学力や学習状況を把握し、児童・生徒への教育指導や学習状況の改善に役立てる。</li> </ul>		
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実施期日 平成27年4月21日(火)</li> <li>○ 対象人員 小学6年生 黒小 24人 白小 3人 (職員) 中学3年生 黒中 22人 白中 1人</li> <li>○ 実施内容 国語と算数・数学について、「知識」と「活用」の2種類の問題と、理科の問題を出題</li> </ul>		

点検・評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査結果から、児童・生徒個々の基礎学力・応用力、学習状況、また、学校における教育及び教育施策の成果と課題を把握することができた。</li> <li>○ 各学校において、調査結果等を分析した上で、指導計画の改善と修正を実施し、児童・生徒の実態に即したきめ細かな指導など、具体的な学習の手立てや指導方法について実践することができた。</li> </ul>				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査年度による学力の差が見られることから、児童・生徒の実態に即した学校改善プランの修正を適宜実施し、実効性のある具体的な取組を推進していく必要がある。</li> <li>○ 児童・生徒個々の学力の差が大きく、家庭での学習時間の短さなどが見られることから、家庭と連携した学習習慣、生活リズムの改善が求められる。</li> </ul>				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校が児童・生徒の実態に即し作成した学力向上の後志学校教育プランの見直しや修正を実施し、習熟度別指導など、より効果的な学習活動が実践できるよう指導・助言に努める。</li> <li>○ 家庭や地域と連携しながら学習習慣を含む生活リズムの確立を図る必要がある。</li> </ul>

その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成26年度から北海道教育委員会が作成し、公表する全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に、本町の結果資料を平成26年度から引き続き平成27年度も掲載している。</li> </ul>
-----	---

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		「生きる力」の育成 学習支援員（特別支援教育補助員）派遣事業		項目番号	1-(1)-②
事業費		13,160千円	担当者	学校教育	
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童・生徒の基礎学力の定着を図るため、学力実態が多様な学校に対し少人数指導等を実施できるよう、また、自閉症等により特別な配慮を必要とする児童・生徒に対し、通常学級及び特別支援学級における授業での学習支援を行うため、学習支援員を配置する。</li> <li>○ 学校生活において介助（支援）を必要とする児童・生徒に対し、特別支援教育補助員を配置して、特別支援教育体制の充実を図る。</li> </ul>			
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習支援員の派遣 黒松内小学校 2名（1学期は3名、3学期は1名） 黒松内中学校 2名</li> <li>○ 特別支援教育補助員の派遣 黒松内中学校 1名</li> </ul>			

点検・評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習障がい等により教育上特別な配慮・支援を要する児童・生徒、また、学校生活において介助（支援）を必要とする児童・生徒に対し、きめ細やかな個別サポート（指導・支援・介助）を行うことで、通常学級及び特別支援学級における教育体制の充実が図られた。</li> <li>○ 放課後及び長期休業中における補充的な学習サポートを行うことができた。</li> </ul>				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習支援員の確実な採用と学校への継続的な派遣が必要である。</li> <li>○ 学習障がい等により特別な支援・配慮を必要とする児童・生徒が増加傾向にあり、きめ細やかな支援を続けていく必要がある。</li> </ul>				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校における学習支援員・補助員の配置及び支援内容やあり方について、支援等を必要とする児童・生徒の状況を的確に把握し、学校とともに関係機関等からの助言を含め、検討する必要がある。</li> <li>○ 特別支援教育連携協議会の業務内容や体制の見直しが必要である。</li> </ul>			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	「生きる力」の育成 学校 I C T 環境整備事業		項目番号	1-(1)-③
事業費	2,921千円	担当者	学校教育	
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の「教師がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に加え、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること」に定められた取組をし、学習効果を期待する授業展開を図るため、学校 I C T 環境を整備する。</li> <li>○ I C T 環境整備及び情報手段の特性を理解し、授業における指導力を高める方法等を研究するため、教職員と教育委員会事務局で構成する検討部会を設置する。</li> </ul>		
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タブレットパソコン購入 8台 (各校2台)</li> <li>○ 各校パソコン維持管理経費</li> <li>○ 町立学校メディア教育整備検討部会 5回開催</li> </ul>		

点 検 ・ 評 価	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成28年度からの I C T 環境整備計画を策定し、今後の整備内容を学校とともに情報共有等することができた。</li> <li>○ 教職員が校務用に使用する I C T 環境の稼動に一部支障があり、これを解決するための整備を計画内に登載することができた。</li> <li>○ 中学校教科書が変更に伴い、教材の一部をデジタル教材とした。</li> </ul>				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教職員の授業における活用指導力の向上につながる取組を、校内等の研修を通じて養うことが重要である。</li> <li>○ 児童生徒の個人情報等がコンピュータ内にもあるため、使用時におけるセキュリティ規程の遵守が必要である。</li> </ul>				
	評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 平成28年度から I C T 環境整備計画に基づき、パソコン等を整備することから、教職員の活用指導力を高め授業での使用により、児童生徒の学力の向上にむすびつけるとともに、教育委員会においてもその成果及び視力低下等の身体的な負担を検証する必要がある。

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	地域と共にある教育の推進 総合的な学習推進事業	項目番号	1-(2)-①
事業費	600千円	担当者	学校教育
事務事業の概要	目的	<p>○ 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、より良く問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。</p> <p>○ 環境プログラムを策定することで、各学校で取り組まれている環境教育を、系統的で継続的な学習とするべき、検討等を行う。</p>	
	実績	<p>○ 黒松内小学校：ブナ里学習（森・川・土と暮らし・大地と文化）</p> <p>○ 白井川小学校：ブナ里のふしぎ発見</p> <p>○ 黒松内中学校：ブナの里のセミナー（ブナ・職場体験・平和学習）</p> <p>○ 白井川中学校：地域の自然環境（水）・福祉学習等</p> <p>○ 環境プログラム編集委員会の開催</p>	

点検・評価	成果	○ 各学校がそれぞれの特色を生かした、「実践・活動テーマ」に基づき、子供たちが自ら学び、自ら考える力や問題を解決する資質や能力など、「思考力」「判断力」「表現力」などの向上が図られた。				
	課題 (問題)	○ 新学習指導要領により総合的な学習の時間が削減されたことから、各教科学習との関連性を図りながら、ブナセンター学校教育部や地域の職場・住民との効率的な関わり等を検討し展開する必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 各教科との関連性を図るとともに、より体験的・探求的な学習に配慮しつつ、環境教育や福祉・キャリア教育に対して一層の充実と、考え、そしてまとめる力を高める必要がある。			

そ の 他	
-------	--



## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	地域と共にある教育の推進  国際交流協力員活動事業	項目番号	1-(2)-②	
事業費	5, 216千円	担当者	社会教育・学校教育	
事務事業の概要	目 的	○ 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の発音や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。 ○ 国際交流協力員との交流を通し、国際理解教育や外国の生活文化への理解を深める。		
	実 績	○ 英語教室の開催（延べ1,241人） ○ 各学校における外国語授業でのTT指導等 ○ 保育園への外国語指導		
点 検 ・ 評 価	成 果	○ 外国語活動の充実のため、各学校の外国語の授業に派遣することにより、生の英語に触れる機会を通じて、コミュニケーション能力の育成を図ることができた。 ○ 国際文化を理解・尊重し、国際的な知識や感覚を養い、国際性豊かな人材育成の一役を担うことができた。		
	課 題 (問 題)	○ 新学習指導要領に基づく授業の充実を図るため、担当教諭との連携を密にする必要がある。		
	評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低 い	
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低 い	
		効率性	<input type="checkbox"/> 高 い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低 い	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高 い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低 い		
今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 休 廃 止		
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休 廃 止		
	今 後 の 取 組 方 向 (改善点等)	○ より充実した外国語の授業が展開されるよう、各学校担当教諭との連携を密にする必要がある。		
そ の 他				

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		地域と共にある教育の推進  食育振興事業		項目番号	1-(2)-③
事業費		2,500千円	担当者	学校教育	
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭における食習慣の乱れが子供たちの成長阻害要因の一つとして指摘されており、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける。</li> <li>○ 地場産製品・野菜などを学校給食に取り入れ、地産地消を推進するとともに学校給食の充実を図る。</li> </ul>			
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校給食の食材として、トワ・ヴェール製品、トワ・ヴェールⅡのパン、地場産野菜等を提供（地産地消）</li> <li>○ バイキング給食、黒松内の日の実施</li> <li>○ 学校栄養教諭による「食」に関する指導・実践</li> </ul>			

点検・評価	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校栄養教諭による「食」に関する指導、実践を行うことにより、また、ホームページでの給食の紹介を通じて、食に対する正しい知識・重要性への理解が深まった。</li> <li>○ 安全で安心な地場産野菜、トワ・ヴェール製品、トワ・ヴェールⅡのパンの学校給食への提供により、地産地消の推進が図られた。</li> </ul>				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地場産野菜等の学校給食への提供とともに、児童・生徒と生産者との関わる機会をつくり、生産の場や生産に係る大変さなどの理解を深めるため、学校等との検討を図る。</li> <li>○ 地場産野菜の供給の安定化のため、生産者、商店や関係機関等との情報交換を継続する必要がある。</li> </ul>				
	評価	必要性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地場産野菜を学校給食に提供する際には、「献立表」への記載や、「給食だより」の発行、その他の方法も考え、児童・生徒への情報提供するとともに、ホームページ等を活用しより深い情報の発信に努める。</li> <li>○ 食習慣の改善を図るため、家庭・学校・地域・行政などが相互に補完・協力しながら、町の食育推進計画と連動して、取り組む必要がある。</li> </ul>			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		地域と共にある教育の推進 学校給食センター施設等整備事業		項目番号	1-(2)-④
事業費		1, 259千円	担当者	学校教育	
事務事業の概要	目的	○ 建築年数の経過とともに腐食及び劣化した給食センター施設の設備や備品の改修・更新等を行うことにより、安全・安心な学校給食の提供に努める。			
	実績	○ 施設・備品修繕（軟水器、洗浄機、冷凍庫など） ○ 備品購入（デジタルスケール、食育指導教材、洗濯乾燥機、除雪機など）			

点検・評価	効果	○ 施設小破修繕、備品等修繕、備品を購入したことにより、施設及び衛生面等での適切な管理が行われ、安全・安心な学校給食を児童生徒へ提供することができた。				
	課題 (問題)	○ 学校給食センターは、建築から約30年が経過していることから、全体的に老朽化が進んでおり、改築等を検討する必要がある。 ○ 改築までの間、食品衛生管理指導の実施における指摘事項の改善に努める必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 老朽化している施設の改修や調理機器等の更新、異物混入防止策を計画的に実施するとともに、建替え等を視野に入れた年次スケジュール及び建設予定地の確保等の具体的検討が必要である。			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		地域と共にある教育の推進 小規模学校教育力調査研究事業		項目番号	1-(2)-⑤
事業費		1,577千円	担当者	学校教育	
事務事業の概要	目的	○ 地域と一体となった教育活動、学校が中心となった地域活動等、小規模校の持つ教育力と地域・自然体験活動の中から「生きる力」を育もうとする自然学校とが連携し、相互教育力の相乗効果による子供たちへの影響・効果・変化などを検証する。			
	実績	○ 黒松内校区から小規模校(白小・白中)へ通学する児童・生徒の送迎(4人、年間221日) ○ 自然体験活動への参加 イエティくらぶ、長期自然体験村への参加等			

検 ・ 評 価	成果	○ 個々に合った学習・生活指導等が可能であり課題に対し積極的に取り組み、また、目標や役割が明確となり、子供たちが責任感を持った行動をするなど、意欲的に取り組むことができた。 ○ 多様なニーズに応じた学校選択の道を確保することができた。 ○ 学校外で大人と会話する機会が少ないため、大人に接する良い時間になった。				
	課題 (問題)	○ 車内、学校内、自然体験活動での様子等を保護者を含めた関係機関職員の間で情報を共有が必要と考える。 ○ 小規模学校の魅力についての情報を積極的に提供する必要がある。				
	評 価	必要性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い
効率性		<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高 い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低 い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 維 持	<input type="checkbox"/> 縮 小	<input type="checkbox"/> 休 廃 止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維 持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休 廃 止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 児童・生徒の自然体験活動への参加、保護者に白井川地区行事への関心を高めてもらう取組、また、黒松内小・中学校学区の保護者に、白井川小・中学校の魅力等を伝える機会づくりを検討する。 ○ 児童・生徒の送迎中における交通事故等の危機管理意識の向上を図り、安全な運行体制を維持する。			

そ の 他	
-------	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	地域と共にある教育の推進 世界文化遺産・西予市交流体験学習事業	項目番号	1-(2)-⑥
事業費	3,285千円	担当者	学校教育
事務事業の概要	目的	○ 世界文化遺産の見学等では、平和の尊さを学ぶとともに、北海道では体験できない歴史や生活文化に触れる。 ○ 姉妹市町提携を結んでいる愛媛県西予市では、黒松内とは気候風土や生活文化が異なる地域で生徒同士の交流を行うことにより、郷土への愛着、自らを律しつつ、他人と協調する心などを育む。	
	実績	○ 黒松内中学校・白井川中学校合同修学旅行の実施 期 日 5月17日(日)～20日(水)(3泊4日) 人 員 生徒31名うち1名はキャンセル(黒中30名、白中1名)、引率10名 場 所 広島県広島市、愛媛県西予市 他	

点検・評価	成果	○ 事前学習で平和について考え、現地での被爆体験者からの講話や原爆ドームなどの施設見学を通し、平和・生命の尊さを再認識するとともに、我が国の歴史や文化に直接触れることができた。 ○ 自主研修及び西予市立中学校(明浜中学校)との交流を通し、生徒の視野が広がり、責任感と協調性のバランスのとれた豊かな人間関係を養うことができた。				
	課題 (問題)	○ 移動時間が長く、姉妹市町交流・体験時間が短いなどの時間配分に課題が残った。 ○ 教職員の異動により、事業開始当初の目的などが分からないまま随行している教職員がいる。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 中学校からは、通常の修学旅行の3日間より1日多い、現在の4日間の行程では、授業時間の確保が難しいため3日間の行程を望む意見が強く、行程の短縮又は主催方法の見直しとともに、本授業の目的である平和に係る授業や姉妹市町訪問を、どのように授業に取り入れるかの検討が、平成29年度に向けて必要である。

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	負託に応える学校づくり 教職員の資質能力の向上事業	項目番号	1-(3)-①	
事業費	930千円	担当者	総務企画	
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の改訂、教育の情報化、生活様式の変化がもたらす問題など、様々な教育課題が山積している現状において、研究・研修事業への参加により、それらの解決や教職員の指導力の向上を図る。</li> <li>○ 各学校の教育目標達成に向け精力的・積極的に研修活動を推進し、学校教育に寄与するための能力開発と自己の資質向上を図る。</li> </ul>		
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研修センター等の各種研修会・研究会への積極的な参加</li> <li>○ 学校の研究及び教育活動上の課題解決に資する機会として、教育局指導主事を招いての研究授業等の開催</li> <li>○ 教職員スキルアップ研修会の開催（6月） 「世界に誇る黒松内の自然」</li> </ul>		
点検・評価	成果	○ 各種研修会・研究会などに積極的に参加することにより、その成果や課題の環流を相互に図りながら、個々の資質の向上と学校の研究・研修の充実が図られた。		
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教職員の授業力や生徒指導力の資質・能力の更なる向上を図る。</li> <li>○ 服務規律に係る教職員の意識改革を図るとともに、指導の徹底を図る必要がある。</li> </ul>		
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	
		効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い		
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止		
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童・生徒に質の高い教育を保障するため、各種研修・研究会への積極的な参加を促し、教職員の授業力や生徒指導力の資質・能力の更なる向上を図る必要がある。</li> <li>○ 児童・生徒の指導等の情報や小中一貫教育活動への移行等を踏まえた小中連携のあり方についての検討、準備等を図る必要がある。</li> <li>○ 勤務時間・休暇・職務専念義務免除等の服務規律、交通規範に係る教職員への指導の徹底を継続して行う必要がある。</li> </ul>		
その他	○ 本町の基本的な自然、産業、催事、暮らし等を理解していない教職員がおり、また、地域とのつながり力を高める工夫が必要である。			

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	負託に応える学校づくり 学校施設整備事業	項目番号	1-(3)-②
事業費	8,045千円	担当者	総務企画
事務事業の概要	目的	○ 建築年数の経過とともに腐食及び劣化した学校施設等の修繕を計画的に行い、学校施設・教育環境の向上を図る。 ○ 教職員住宅の居住環境の向上を図る。	
	実績	○ 各小中学校施設修繕 白小(校舎外壁修繕) ○ 教職員住宅(改修1棟1戸、舗装2棟2戸)	

点検・評価	成果	○ 学校施設等の修繕などを行うことにより、学校施設・教育環境の向上が図られた。 ○ 教職員の居住環境の向上が図られた。				
	課題 (問題)	○ 今後、学校施設、教職員住宅等の老朽化に伴い、計画的な修繕・整備計画等が必要がある。 ○ 学校の適正・快適な使用のための学校内での管理手法の引継ぎが充分されていない。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 老朽化に伴う学校施設の計画的な修繕、メンテナンス等を実施する必要がある。 ○ 教職員住宅の老朽化に伴い、計画的な修繕・整備計画等が必要である。 ○ 学校の適正・快適な使用のため、学校内で管理手法の引継ぎ方法を検討する。

その他	○ 平成27年4月1日より教職員住宅のうち、16戸を地域住宅に用途変更し、2戸を廃止した。
-----	---

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		負託に応える学校づくり 学校関係者評価事業		項目番号	1-(3)-③
事業費		50千円	担当者	学校教育	
事務事業の概要	目的	○ 各学校の自己評価及び学校関係者による評価を実施し、公表することにより適切な説明責任を果たし、保護者・地域との連携協力による学校運営の改善と充実を図る。			
	実績	○ 児童・生徒及び保護者へのアンケート調査等による自己評価 ○ 学校関係者評価委員による外部評価 黒松内校区6名、白井川校区4名			

点検・評価	成果	○ 各学校の自己評価及び学校関係者評価を実施し、公表したことにより説明責任を果たし、より信頼される学校づくりを進めることができた。				
	課題 (問題)	○ 保護者アンケート調査の回収率のより向上を図る必要がある。 ○ 学校関係者評価委員会の適切な運営を行う必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		効率性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 学校関係者評価委員会の適切な運営を促すとともに、学校だよりの校下全戸配布や学社融合事業、学校支援地域本部事業の実施など、開かれた学校づくりと充実した教育活動への支援を継続して行う必要がある。 ○ 教職員評価と保護者評価に開きがある項目については、その理由を検証する必要がある。 ○ 保護者アンケート調査の自由記述欄の記載事項については、引き続き、適切な対応を行う必要がある。 ○ 学校運営協議会の設置の方向性について、教育委員会で検討する必要がある。			

その他	
-----	--



## 2 子供の未来をはぐくむ家庭教育

### 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		子供の健やかな成長を支える体制づくり 保育・放課後児童対策事業	項目番号	2-(1)-①
事業費		79,197千円	担当	子育て支援
事務事業の概要	目的	○ 子どもの健やかに成長できる環境づくりと多様化する子育てニーズに対応するため、黒松内保育園等との連携を強化し、教育委員会であるメリットとして幼児期から学齢期までの連続性のある質の高い子育て対策を行う。		
	実績	○ 教育・保育給付費（利用者負担軽減分も含む） ○ 児童クラブ（42名加入）・児童館運営 ○ 出産祝い金 1戸		

点検・評価	成果	○ 保育園利用者負担の軽減や、児童クラブ活動等の取組がされ、共働き世帯の子育て環境の安全・安心等につながっている。 ○ 児童福祉及び子育て支援業務が、教育委員会に移行したことにより、今まで個別に対応していた取組が少しずつではあるが、社会教育と効率的・有機的に行うことができた。				
	課題 (問題)	○ 各子育て支援対策の充実は必要であるが、家庭における教育力を高めることも重要であり、社会教育活動と連携し、取り組む必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 地域における子育て支援体制の充実のため、子育て会議や関係団体等からの保護者から意見、要望を聞きとる意識づくりをする必要がある。 ○ 年度途中に児童クラブ加入や保育園入所を希望する保護者がいることから、受入れする場合及びお断りする場合も含めて、相談しやすい環境づくりや平等な対応に十分配慮していく。

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	子供の健やかな成長を支える体制づくり 母子保健推進・子ども子育て相談支援事業	項目番号	2-(1)-②
事業費	6,398千円	担当者	子育て支援
事務事業の概要	目的	○ 安心した妊娠・出産・子育てができる環境整備や、母子の健康確保を図るため、保健福祉課、保育園、学校、関係機関等とともに保健師や栄養士等によるきめ細やかな支援を実施する。	
	実績	○ 妊婦健診事業、乳幼児検診事業 ○ 乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業 ○ 地域子育て支援センター運営費補助事業	

点 検 ・ 評 価	成 果	○ 地域全体で出産や子育て等を支援する基盤の形成を図るため、子育て家庭等に対する支援活動をし、また、育児不安に対する相談指導や地域子育て支援センターへの支援を継続して行い、安心して出産、子育て等ができる環境づくりができた。 ○ 子育て期において、地域の方々との交流が少ない家庭があることからその孤立化の解消をすべく、母子保健において父親・母親が参加しやすい集まりの場をつくることのできた。				
	課 題 (問 題)	○ 乳幼児検診事業の受診数が少ない家庭があるため、個別訪問を取り入れることで、母子の健康確保につなげていく。 ○ 乳幼児検診や保護者からの申し出により、子育て期において特別な支援が必要である乳幼児へは、関係機関等が連携した支援体制づくり及び早期の支援実施が求められている。				
	評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> やや高	<input type="checkbox"/> やや低	<input type="checkbox"/> 低
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> やや高	<input type="checkbox"/> やや低	<input type="checkbox"/> 低
効率性		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> やや高	<input type="checkbox"/> やや低	<input type="checkbox"/> 低	
達成度		<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> やや高	<input type="checkbox"/> やや低	<input type="checkbox"/> 低	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡 充 <input checked="" type="checkbox"/> 維 持 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維 持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽 微 な 改 善 <input type="checkbox"/> 抜 本 的 改 善 <input type="checkbox"/> 休 廃 止
	今後の取組方向性 (改善点等)	○ 継続して、乳幼児検診事業の受診数が少ない家庭や孤立化傾向の家庭に対する働きかけ及び支援を強化し、母子ともに健康な生活ができるよう努める。 ○ 支援が必要である学齢期における児童生徒に対し、今まで以上に学校等との情報交換、連携を深め、子どもにとってよりよい環境となるよう取組をする。

そ の 他	
-------	--

### 3 豊かな地域をつくる生涯学習

#### 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		生涯学習の推進 家庭教育への支援事業 (親子体験事業・子育てサークルへの支援)		項目番号	3-(1)-①
事業費		234千円	担当	社会教育	
事務事業の概要	目的	○ 家庭教育は、全ての教育の出発点であり、基本的な生活習慣の定着や豊かな心の育成は、家庭教育の教育力によるところが大きいことから、家庭教育に関する学習会や子育てに関する情報提供を図る。			
	実績	○ 家庭教育講座 2回実施 (学びカフェ) ○ 親子体験事業 6回実施 (田植え、稲刈り、ホテルを見に行こう、もちつき等) ○ 子育てサークル「ぶなっ子クラブ」活動支援			

点検・評価	成果	○ 関係機関と連携を図りながら様々な学習機会や情報の提供を行うとともに、子育て支援サークルを中心としたネットワークづくりを進めたことにより、子育ての不安や悩みの解消され、また、家庭教育力の向上が図られた。 ○ 親子での体験活動を取り入れ実施した結果、まだ少人数ではあるが、初めての参加者や父親の参加を得ることができた。				
	課題 (問題)	○ 家庭教育そのものの重要性の認識が低下している現状にある。 ○ 少子化や核家族化、ライフスタイルの変化、地縁的つながりの希薄化など家庭環境の変容により、子育て家庭が社会的に孤立している状況が見られる。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 家庭教育の重要性の認識を高めるため、一方的な講話ばかりではなく、ワークショップを取り入れながら、参加者が参画できるような事業内容を構築する。 ○ 地域ぐるみで子育てする親への支援など、地域における子育て支援体制の充実、子育て業務を一元化する長所を生かす必要がある。			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		家庭や地域の教育力向上と支援 地域教育力の活性化事業 (異年齢、異世代間交流等)		項目番号	3-(1)-②
事業費		63千円	担当	社会教育	
事務事業の概要	目的	○ 少子化や核家族化が広がり、人間関係や地域連帯感の希薄さから家庭や地域における教育力の低下が問題となっていることから、学校・家庭・地域の連携を深め、地域で子供たちを育てる環境づくりの推進を図る。			
	実績	○ スポーツフェスティバル運営委員会事業 (わくわく楽しい運動会) ○ 黒松内町元気キッズクラブ運営委員会事業 (わんぱく探検団：もちつき事業等) ○ 生涯学習センター本部事業 (地域教育講演会：子どもの可能性を引き出そう)			

点検・評価	成果	○ それぞれの関係機関が抱えている課題を共有することができ、家庭や地域における教育力低下の課題を解決するための方策を探るなど、地域全体で子供を育てる、支援する体制が確立されつつある。 ○ スポーツ活動、文化活動、学校支援活動など多くの町民が参画する機会を提供することができた。				
	課題 (問題)	○ 参加者及び協力する町民が固定化してきており、交流の内容に工夫を加えるなどの対策を講ずる必要がある。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 学校・家庭・地域の連携を一層深め、地域全体で子供を育てる環境づくりが必要である。 ○ 大人と子供の結び付きを強める事業展開、また、多くの町民が参加しやすいプログラムづくりなど、対策を講ずる必要がある。			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		生涯学習の推進 青少年教育の充実事業 (元気キッズ、放課後子ども教室、学校支援地域本部事業等)	項目番号	3-(1)-③
事業費		3,843千円	担当	社会教育・子育て支援
事務事業の概要	目的	○ 子供たちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域などが一体となって、地域の教育資源を積極的に活用した豊かな体験活動の充実を図る。		
	実績	○ 黒松内町元気キッズクラブ運営委員会事業 (学舎融合事業(知育講座)、わんぱく探検団、夏・冬休み子ども遊び塾等) ○ 放課後子ども教室(黒松内地区、白井川地区) ○ 学校支援地域本部事業 (酪農職業体験、ハーブガーデン助言、笑い文字講座等) ○ 森のようちえん、子どもネイチャー体験事業		

点検・評価	成果	○ 地域の学習施設や体育施設、自然資源を積極的に活用した自然・生活・社会体験活動などの機会を提供したことにより、幼児期からの子供たちの「生きる力」が育まれた。 ○ 学校・家庭・地域などの連携と理解により、地域社会が一体となった子供の健全育成が行われた。				
	課題 (問題)	○ 豊かな体験学習を促進するための指導者・スタッフが重要な役割を担うことから、指導者等の確保と養成が必要である。 ○ 「スマホ」などの普及によるメディア対策が急務である。				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 学校・家庭・地域等が連携しながら豊かな体験活動等を促進するための指導者・スタッフの確保と養成が必要である。 ○ 子供とメディアのより良い環境づくりを家庭・学校・地域等が連携しながら推進する気運づくりが必要である。 ○ 国の施策もあり、放課後子ども教室と児童クラブの一本化、若しくは交流についてを、検討し見直しする必要がある。			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		生涯学習の推進 地域コミュニティー振興事業 (地域づくり、人づくりの推進等)	項目番号	3-(1)-④
事業費		5,021千円	担当	社会教育
事務事業の概要	目的	○ 生涯学習を通じた心豊かなコミュニティーの振興を図るため、地域ごとの課題の解決に関わり、住民が主体的に考え、協働して解決していくための「仕組みづくり」を進め、地域の教育力を高めるとともに、共に学び合える地域づくりを推進する。		
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 黒松内町生涯学習センター本部事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習：黒松内音頭振興、ふるさと学講座、笑い文字講座、町民自主企画型生涯学習講座モデル事業 など</li> <li>成人教育：地域づくり研修会</li> </ul> </li> <li>○ 黒松内町地域づくり振興協議会事業 (人づくり研修、地域づくり振興会5地区)</li> <li>○ 地域づくり支援員の配置 (白井川、大成・豊幌、中ノ川地区)</li> <li>○ 地域づくり支援員活動業務委託事業</li> </ul>		

点検・評価	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域づくり振興会の設置及び地域づくり支援員を配置したことにより、各地域が課題解決のために、地域住民自ら地域の活性化を目指す独自活動が展開され、地域住民の親睦を深め、心豊かで潤いと活力ある地域づくりが推進された。</li> <li>○ 住民主体による地域づくりに関する意識の共有化が進み、地域が一体となった活動が展開された。</li> <li>○ 町民自らが企画して取り組むモデル事業の取組により、多様な事業が実施することができた。</li> </ul>				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各団体・地域のリーダーの育成が必要である。</li> <li>○ 学習ニーズを探り、現状を分析しながら、地域課題解決型の新たな学習プログラムづくりが必要である。</li> </ul>				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各地区における次世代を担うリーダーの育成が急務である。</li> <li>○ 各地域が単独で事業を行うだけでなく、各地域が連携を図りながら学習できる機会の提供が必要である。</li> <li>○ 地域おこし協力隊制度を活用するなど、より一層の支援を行う。</li> </ul>			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		文化振興・読書活動の推進 文化・芸術活動の推進事業 (文化芸術活動への参加機会の拡充)		項目番号	3-(2)-①
事業費		1, 265千円	担当	社会教育	
事務事業の概要	目的	○ 生涯を通じて、心のゆとりや潤いにつながる文化に親しむことができる環境づくりを進めるため、地域に根ざした自主・自発的な文化活動を促進する発表の場や機会の提供、芸術鑑賞等の文化に触れる機会の充実を図る。			
	実績	○ 黒松内町文化団体連絡協議会事業 (総合文化祭事業、文化・余暇自主活動) ○ 黒松内町元気キッズクラブ運営委員会事業 (親子芸術鑑賞会、児童小劇場、中学生音楽鑑賞会)			

点検・評価	成果	○ 文化団体連絡協議会の各加盟団体は、各団体において活動の発表の場を積極的につくり、会員相互の親睦及び町外の人たちとも交流するなど、自らを高めることとともに、広く町民への参加を促すなどの活動を展開しており、心のゆとりや潤いにつながる文化に親しむことの環境が整備された。				
	課題 (問題)	○ 文化団体連絡協議会においては、新たな団体が生まれる傍ら、会員及び指導者の高齢化、後継者不足などから会を存続できず、解散又は活動の休止が見られていることから、指導者の養成、リーダーの発掘、新しい文化活動を見出すことなどが必要である。				
	評価	必要性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 文化団体会員及び指導者の高齢化、後継者不足などの問題もあり、指導者の養成、リーダーの発掘を図るとともに、地域に根ざした自主・自発的な新しい文化活動を見出すことなどが必要である。 ○ 文化団体連絡協議会などが開催する文化事業や文化活動を支援するとともに、近隣町村との芸術鑑賞情報の提供や文化団体・施設などのネットワークづくりなど、広域的な文化事業の取り組みを進めていく必要がある。			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)		文化振興・読書活動の推進 文化財の保存、活用事業 (町指定保存木、郷土資料・生活民具等)	項目番号	3-(2)-②
事業費		194千円	担当	社会教育
事務事業の概要	目的	○ 国の天然記念物である「ブナ自生北限歌オブナ林」は勿論のこと、本町の貴重な文化財でもある「町指定保存木」を保存・活用してきたが、今後は、郷土資料や生活民具についても調査・整理するなど、活動幅を広げていくことで、本町の多様な自然・歴史・文化等に関する町民の理解を深める。		
	実績	○ 郷土資料・生活民具等収集（一部を豊幌地区生涯学習館で管理・展示） ○ 郷土資料の整理 ○ 町文化祭郷土資料展示（総合文化祭） ○ 町民有志による郷土資料保存サークル「ふるさと語ろう屋」活動 ○ 町指定保存木の枯損木伐採		

点検・評価	成果	○ 町文化祭に郷土資料の展示を、ふるさと語ろう屋とともに行ったことにより、郷土資料に対する町民の意識が高まり、また、地域文化への認識が深まり、誇りと愛着を育むことができた。				
	課題 (問題)	○ 郷土の近代生活史や文化、失われつつある生活民具など貴重な資料に目を向け、再評価や伝承につながる学習機会を提供するなど、地域文化の保存・活用に努める必要がある。 ○ 定期的に町指定保存木の現況を把握し、適切な対策を講ずるなど、保存木の管理に努める必要がある。				
	評価	必要性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	○ 郷土に根ざした生活文化（民具、記憶等）などを後世に確実に伝えていくため、ふるさと語ろう屋活動と連携し、個人の記憶の聞き取り、また、町内に埋もれている生活民具を発掘するなど、郷土の歴史や文化的遺産に触れる機会の拡充に努める必要がある。 ○ 収集した郷土資料・生活民具等の管理・展示場所の確保及び個人保有している生活民具等の管理（収集も含む）の方法を、早期に検討する必要がある。			

その他	
-----	--



## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	文化振興・読書活動の推進 ふれあいの森情報館活動事業	項目番号	3-(2)-③	
事業費	15,456千円	担当	社会教育	
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふれあいの森情報館は、基本的な図書館機能に留まらず、地域文化の向上を図る事業展開を行うとともに、町民の交流の場としての役割を併せ持つ持つ施設であることから、一般図書資料はもとより、広範多岐にわたる学習ニーズに対応しながら町民の生活課題に関する学習や地域活動の支援を行う。</li> <li>○ 子供の読書環境を豊かにするために、情報館が中心となり、学校・家庭との連携を図る。</li> </ul>		
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書活動の推進事業（情報館友の会との協働による運営） <ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌の発行、読書まつり、読書ひろば、読書普及講演会、親子読書活動の実施</li> <li>リクエストの受付、図書資料の購入、学校図書共同購入、広瀬子ども文庫基金の活用</li> <li>夜間開放、レファレンス対応、HPの更新、学校等への出前読み聞かせ など</li> </ul> </li> <li>入館者数 9,839人、貸出冊数19,538冊、視聴覚資料貸出1,441本</li> <li>インターネット利用件数0件（整備中）、登録者数2,985名、蔵書数32,618冊</li> <li>○ 情報館友の会の活動支援（研修会への参加）</li> <li>○ 地域ステーション（白井川地区）の設置（利用人数41人、貸出冊数78冊）</li> </ul>		
点検・評価	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報館友の会との協働により施設運営・事業展開をしていることから、きめ細かな町民サービスや親子・児童向けの読書活動に工夫を凝らしながら、生活の中に読書を取り入れることができた。</li> <li>○ 地域ステーションの設置により、市街地以外の町民へも読書環境を整えることができた。</li> </ul>		
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子供や高齢者らの読書環境を豊かにするために、学校、認定保育園、福祉施設と連携し、団体貸出しや出前読み聞かせ等を積極的に実施しているが、さらに利用を伸ばすためには、関係機関（保健福祉課・福祉施設等）とのより緊密な連携が必要である。</li> <li>○ 利用者が固定化しつつあることから、登録者・利用率、事業内容などを検証し、充実した学習活動支援のため、図書及び情報資料の整理をするとともにや転入者へのピーアールに努める必要がある。</li> </ul>		
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	
		効率性	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い		
今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止		
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人々の価値観が多様化し、また、町民が減少している中、町民ニーズに今まで以上応えるため、新たな視点で管理運営に努める必要がある。</li> <li>○ 行政関係・福祉関係機関等との連携を強化しながら幼児期の家庭教育支援の一躍を担う情報の発信、町民の生活課題・地域課題、町の政策に対応できる図書資料を配備する必要がある。</li> </ul>		
その他				

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	文化振興・読書活動の推進 ブナセンター活動事業	項目番号	3-(2)-④
事業費	17,088千円	担当	文化振興
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブナセンターは、町の自然・文化・歴史などの情報を収集・発信する博物館的機能と、3つの工房を活用した文化活動を支える機能を有する施設であり、町内外者を対象とする交流施設として運営する。</li> <li>○ 生物多様性に富んだ自然やそこから生まれる文化等を誇りに思う町民を育てる。</li> </ul>	
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ のべ来館者 20,566人</li> <li>○ 主催事業  <ul style="list-style-type: none"> <li>参加型調査(花ごよみ、キノコごよみ)、ブナの実調査、自然観察会、ブナセンター講座、ブナ里自然塾、ブナセンターフェスティバル等</li> </ul> </li> <li>○ 関連事業  <ul style="list-style-type: none"> <li>四季のブナウォッチングツアー、黒松内生物多様性保全奨励事業、黒松内ブナ林再生プロジェクト</li> </ul> </li> <li>○ 学校教育支援事業 学校教育部</li> <li>○ 展示 企画展示・季節展示</li> <li>○ 調査研究・資料収集活動 共同研究、研究者住宅</li> </ul>	

点検・評価	効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交流施設として、自然体験・工房活動等を多くの方々に提供でき、また、町民とともに観察会や植樹等の活動を通じて、自然環境保全の大切さを伝えることができた。</li> <li>○ 学校教育部では、町内外の学校等の依頼を受け、環境教育を実践することができた。</li> </ul>				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ より多くの来館者につなげるため、職員のスキルアップとともに、観光協会やぶなの森自然学校等の関係者との連携を積極的に図り、共同プログラムの構築や情報を発信する必要がある。</li> <li>○ 町内の工房利用者、参加型調査の協力者は高齢化や減少しているため、利用者等ニーズや方法を見直しし、新たな加入につながる取組にする必要がある。</li> </ul>				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善 <input type="checkbox"/> 抜本的改善 <input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ブナセンター活動を常に高めるため、若手研究者への支援、大学や研究機関等のネットワークを継続し、最新の知見を得るとともに、ブナセンターの各種事業、学校授業、自然環境保全等への活用をする。</li> <li>○ 本町の自然を様々なかたちで楽しむ方々に応えるためには、環境情報の共有化や知識の蓄積をする重要であり、町内にいる関係者のネットワークづくりの中心としての機能を担う必要がある。</li> </ul>

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	生涯スポーツの振興と健康づくり 生涯スポーツの推進事業 (生涯スポーツ、自然療法)		項目番号	3-(3)-①
事業費	7,604千円	担当	社会教育	
事務事業の概要	目的	○ 健康とスポーツの町の趣旨に添い、町民の誰もが体力や年齢などに応じてスポーツに親しみ、健康増進と体力の向上を図るとともに、青少年の健全育成、地域コミュニティの振興を推進するため、町民が継続して様々なスポーツに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツの推進を図る。		
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツフェスティバル運営委員会事業 〔町民ミニバレーボール大会、雪中レクリエーション、各種スポーツ教室 みんなでクロスカントリーを楽しもう など〕</li> <li>○ 体育協会事業、スポーツ少年団への補助 〔加盟団体への活動補助、町内一周駅伝大会、近隣町村柔道大会、町民大会等 全国・全道大会参加経費補助、近隣町村野球大会 など〕</li> <li>○ 各種スポーツイベント 〔全道シニア&amp;レディースパークゴルフ大会、日本ハムキッズサマーキャンプ、 北海道チャンピオンシップ少年軟式野球大会〕</li> <li>○ スポーツコーディネーターの配置 (町民の健康相談窓口の充実、健康教室や運動指導)</li> <li>○ 自然療法の取り組み 〔自然環境調査・研究(ストレスチェック)、人材養成プログラム、ハーブ ガーデンメンテナンス、森林療法シンポジウム など〕</li> </ul>		

点検・評価	成果	○ スポーツ事業の実施に当たっては、スポーツ推進委員・体育協会・スポーツ少年団・各実行委員会等と連携図り、広く町民の意見を取り入れ、参加しやすい環境づくりを図りながら事業を実施したことにより、多様なスポーツ活動等を通じて、青少年の健全育成、町民の健康保持や体力増進などに加えて、地域のコミュニティの醸成を図ることができた。				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町民が気軽にスポーツに親しみことができるよう関係団体等と連携を図りながら各種事業を展開しているが、参加者が固定化してきており、各年代層のニーズにあったスポーツ活動を取り入れる必要がある。</li> <li>○ 本町の自然・森林環境を活かした健康づくりを、広く町民及び関係団体等に周知し、地域づくりを含めた活動の拡大につなげていく。</li> <li>○ 町外からも参加がある大会では、近年、参加数が減少傾向にあるため、競技内容や周知方法等の見直しを図る。</li> <li>○ 各スポーツ施設が経年による老朽化が進んでいることから、計画的な修繕等が必要である。</li> </ul>				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツ指導者を養成するとともに指導力の向上を図り、スポーツ教室などを通じて底辺の拡大に努める必要がある。</li> <li>○ 活動が停滞している団体も見受けられるので、活動実態を把握し、育成・支援に努めるとともに、スポーツに親しんでいない子供から大人までの多世代の町民に対しての機会づくりを積極的に行う必要がある。</li> </ul>			

その他	
-----	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	生涯スポーツの振興と健康づくり 町民体育館改修等整備事業		項目番号	3-(3)-②
事業費	24,084千円	担当	社会教育	
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昭和50年に建設した町民体育館が老朽化及び耐震不足が判明していることから、本町らしい町民体育館の在り方を、町民によるワークショップにて検討した。</li> <li>○ 健康とスポーツの町として、町民の誰もがスポーツに親しみ、健康増進と体力の向上、地域コミュニティー等が図られる中核施設・環境づくりを整備し、平成29年4月オープン(予定)する。</li> </ul>		
	実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町民体育館新築工事基本設計業務委託</li> <li>○ 町民体育館新築工事实施設計業務委託</li> <li>○ 町民体育館等解体工事实施設計業務委託</li> <li>● 町民体育館等解体工事(平成28年度繰越明許事業)</li> </ul>		

点 検 ・ 評 価	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 検討委員会に構成された町民の意見を集約しながらワークショップを開催し、幅広く町民ニーズを吸い上げ、理想とする町民体育館の実現に向け、町民が主体的に活用できるよう委員同士の連帯感や思いを共有し、検討委員会としての意見を集約することができた。</li> <li>○ 基本設計は、プロポーザル方式で提案のあった設計会社に委託し、検討委員会の意見を参考にして、実施設計を作成した。</li> </ul>				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国の交付金の採択に向けた申請等を適時作成し、円滑な建設工事の着手に可能な環境づくりを行う。</li> <li>○ 備品購入費の補正予算化のため、運営方針等を早期に決定する必要がある。</li> <li>○ 体育館の有効利用を図る上からも、各体育団体の振興、町民の健康やスポーツに取り組む意識の向上につながる施策の実施が求められる。</li> </ul>				
	評 価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今 後 の 方 向 性	事業規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向性 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育館は基本的なスポーツ機能のほか、子供や高齢者までの健康、体力づくり、地域コミュニティー、災害時の避難所としての機能を持ち、利用者が増加する条例や運営方針、料金設定等を策定する。</li> <li>○ 施設運営は、町単独に限定せず、一部を民間会社に委託等するなどの多様な運営体制を検討する。</li> <li>○ 避難所機能は、防災担当課と調整し、備蓄品等の配置をする必要がある。</li> </ul>			

そ の 他	
-------------	--

## 点 検 ・ 評 価 調 書

点検・評価項目 (事務事業名)	生涯スポーツの振興と健康づくり キャンプ場活動事業	項目番号	3-(3)-③
事業費	9,332千円	担当	文化振興
事務事業の概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌才オートキャンプ場は、豊かな自然に囲まれ、広々としたテントサイトやたき火の使用等が特徴であり、道央圏を中心に利用者を受け入れる交流施設として運営する。</li> <li>○ 平成5年度にオープンしており、経年劣化がみられる一部施設・設備等があるため、計画的な修繕・改修を行い、利用環境の向上を図る。</li> </ul>	
	実績	○ のべ利用者人数 5,048人、開園日数 177日	

点検・評価	成果	○ プナセンターと連携した体験活動やオープンイベント等を実施することにより、利用者が楽しめるキャンプ場づくりを行うことができた。				
	課題 (問題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の高齢傾向があるため、初心者層を呼び込むイベント等を実施し、新規利用者の増加を図る。</li> <li>○ ホームページのタイムリーな記事紹介、消耗品の配置、テントサイト環境整備など利用者の視点を持った、サービスを検討し、全職員の意識共有の中で運営する必要がある。</li> <li>○ 町民の利用が極めて少ないことから、デイキャンプも含め手軽にキャンプ場を楽しめるイベント等を実施する。</li> </ul>				
	評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
		有効性	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
効率性		<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	
達成度		<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い	

今後の方向性	事業規模	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休廃止
	手法の改善	<input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 軽微な改善	<input type="checkbox"/> 抜本的改善	<input type="checkbox"/> 休廃止
	今後の取組方向 (改善点等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設を運営する教育委員会職員と委託先職員が、共通理解を持ち、キャンプ場のサービス向上を高める職場環境を早急につくる必要がある。</li> <li>○ キャンプ場のほか関連施設や地域資源を洗い出し、連携を図り、より利用者にとって魅力ある運営を進める。</li> <li>○ 現在の施設では、特にバンガローの経年劣化が激しく、その他施設も含めた施設再整備プラン策定を、担当グループ内で検討する。</li> </ul>			

そ の 他	
-------	--

## 4 全体評価

黒松内町教育委員会では、各教育関係機関・団体と連携を図り、協働で進める開かれた教育行政を推進することが、子供たちに「生きる力」を、地域に「自立」と「共生」の力を育む上で最も大切なことと考え、また、「みんなで支える学校、みんなで育てる子供」を合い言葉に、「教育は人づくり」であるとの認識の下、豊かな教育環境と町民のニーズに応える生涯学習の充実を図るため、各種事業等を実施してきました。

本年度は、教育委員会に子育て世代に係る施策を一本化するため、子育て支援グループが設置され、児童福祉と母子保健業務が加わり、学校教育や社会教育業務との連携を高めるとともに、ブナセンター及びオートキャンプ場を運営する文化振興グループも加わりました。

また、平成28年度の大規模事業となる町民体育館（仮称）整備に向けた設計業務と解体工事に着手いたしました。

平成27年度教育行政執行方針に掲げた教育委員会が主管する主な事務・事業について、教育に関する事務の点検及び評価に関する実施方針（平成21年4月23日教育委員会決定）に基づき、点検及び評価を実施しましたのでその全体評価について報告します。

### (1) 子供の心を育てる学校教育

社会情勢が急激に変化し、グローバル化への対応や、生活や各メディアの多様化、少子高齢化による社会活力の低下などの課題が生じてる中で、未来を担う子供たちが夢と希望を持ち、主体的に未来を切り開くことができる能力としての、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」をバランスよく身に付けた子供の育成と、その基盤となる教育環境づくりと各種事業等を実施してきました。

#### ① 「生きる力」の育成

基礎的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力、主体的に学習に取り組む態度などの「確かな学力」の定着と向上を図るため、学習指導の充実、教育環境・支援体制の充実に努めてきました。

なお、特別に配慮・支援を必要とする児童・生徒については、各学校とともに支援の在り方を、関係機関等からの助言をいただき進める必要があります。

学習支援員の役割等についても、各年度の児童生徒の現状を理解した上で、その効果的な支援方法を見定めし、行っていくことが課題といえます。

全国学力・学習状況調査結果では、調査年度による学力の差が見られることから、学年ごとに児童・生徒の実態に合わせた基礎学力の定着を図る必要があります。

「確かな学力」の定着と向上を図るため、調査結果などを分析、児童・生徒個々の能力を把握、各学校における課題や問題点を明らかにした上で、学校教育プランの見直しや修正による授業改善、家庭や地域と連携した学習習慣を含む生活リズムの改善に向けた取り組みが必要です。

各学校におけるICT環境整備計画を策定し、平成28年度から計画に基づき、パソコンやタブレット等の整備が進みますので、ICT環境を十分活かすための教職員の活用指導力の向上も求められます。

## ②地域と共にある教育の推進

北限のブナ林をはじめとする生物多様性に富んだ自然環境や、身近に食の生産地に接することができる農村地域、四季折々の美しい牧歌的な風景や高齢者らと触れ合える充実した福祉施設など、総合的な学習では本町の地域特性を生かした授業を展開しており、今後も、環境教育や福祉教育、キャリア教育も含め、一層の充実を図る必要があります。

偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや肥満・痩身傾向など、子供たちの健康を取り巻く問題が深刻化していることから、子供たちに「食」に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、栄養教諭等を活用しながら指導に努めてきました。

引き続き、年間指導計画により適切な指導を行うとともに、家庭と連携した食習慣の改善に努めるとともに、食育の生きた教材となる学校給食の提供、さらに、食を通じて地域等を理解することや食文化の継承を図ることが求められます。

また、老朽化している学校給食センターは、総合計画実施計画で定めた平成29年度を、他公共施設整備のため後年度に変更したことにより年次スケジュールの具体的な見直しとともに、建設予定地の確保も重要です。

白井川小学校及び白井川中学校では、児童・生徒一人ひとりとの触れ合いと個性を大切にしながら進められる小規模校として、その教育力、また、地域・自然体験活動等を通じた学び合いから心身の健やかな成長と確かな学力、豊かな心を育む学校環境として評価され、今後も、多様な学習ニーズに応じた学校選択の道を堅持するとともに、受入体制などの充実、魅力を伝える積極的な情報発信を図る必要があります。

しかし、今後、両校においては、本町の学校再編成要綱に定める児童・生徒数を下回ることが見込まれることから、学校、保護者、地域の方々と情報や課題の共有化を図る必要があります。

また、学社融合による修学旅行「世界文化遺産・交流体験学習」については、西予市立中学校との交流や広島市における平和学習等の効果はありますが、授業時間確保等の課題があるため、行程の短縮、主催方法の見直しが必要です。

児童生徒は、いかなる理由があっても、いじめを行ってははいけません。平成28年3月に策定したいじめ防止基本方針に基づく各取組や役割を個人、保護者、学校、教育委員会等が担い、地域に暮らす住民の皆さんに、温かい目で見

児童生徒を見守りいただける環境づくりに努めます。

### ③負託に応える学校づくり

教職員の授業力や生徒指導力などの資質・能力の向上を図り、子供たちに質の高い教育を保障するため、各種研修会・研究会等への参加を促し、職務に対する自覚や意欲、学校運営への参画意識を高めてきました。

教職員の更なる実践的指導力等の向上、併せて、地域の教育資源や人材の有効活用を図り、その成果が児童・生徒に還元され、学校運営との連携へと導く必要があります。

また、勤務時間・休暇・職務専念義務免除等の服務規律に係る教職員の意識改革、交通規範の遵守等の指導の徹底を継続的に図る必要があります。

児童・生徒が安全・安心な環境で学ぶことができるよう、各学校施設（設備）の緊急を要する箇所（箇所）の修繕を行ってきました。

保護者・地域の連携協力による学校運営及び改善と充実を図り、信頼される学校づくりを進めるため、各学校における自己評価及び学校関係者による評価を実施し、公表することにより説明責任を果たしてきました。今後も、学校関係者評価委員会の適切な運営を促すとともに、開かれた学校づくりと充実した教育活動への支援を継続し、また、学校運営協議会の設置の方向性を教育委員会で検討する必要があります。

## (2) 子供の未来をはぐくむ家庭教育

少子化や子育て世代の変化がみられますが、家庭は教育の原点であり、全ての教育の出発点であります。子供が健やかに成長できる環境づくりと多様化する子育てニーズを探り、幼児期から学齢期までの連続性のある質の高い子育て支援を、母子保健、児童福祉の分野において実施してきました。

### ①子供の健やかな成長を支える体制づくり

子育て世代の保育園利用者負担の軽減や児童館における児童クラブ活動等の取組をし、共働き世帯の子育て環境の安全・安心を図ってきました。

今後も、子育て世代の支援充実のためには、子育て会議や関係する団体等の保護者の声を聞き取り、施策への反映が求められています。施策充実とともに、近年、低下している家庭における教育力を高める取組も重要です。

妊娠や出産、子育て等を支援する基盤の形成を図るため、子育て家庭等に対する支援活動をし、また、育児不安に対する相談指導や地域子育て支援センターへの運営費補助金を継続して行い、安心して出産、子育て等ができる環境を図ってきました。

子育て期において、地域の方々との交流が少ない家庭があることからその孤立化の解消をするため、母子保健の取組において父親・母親が参加しやすい集まりの場をつくりました。

乳幼児健診などで、特別な支援が必要である乳幼児へは、保護者への理解のもと、保育園や南後志児童デイサービスセンター、学校等と連携した早期な支



援の実施が求められています。

### (3) 豊かな地域をつくる生涯学習

少子・高齢化に伴う諸課題が顕在化し、地域社会や保護者のニーズもますます複雑・多様化する中、学びの力で青少年の健全育成や地域コミュニティの醸成に努めるとともに、家庭・地域の教育力の向上、地域全体で子供を守る体制づくり、地域の特性を生かした生涯学習の充実のため、各種事業を実施してきました。

#### ①生涯学習の推進

少子化・核家族化などの進行に伴い、人間関係や地域連帯感の希薄化が進んでいる中で、全ての教育の出発点である家庭や地域社会の教育力の向上を図るため、家庭・PTA等と連携し、学習習慣を含む生活習慣の確立に努めてきました。

しかし、子育て世代において、家庭教育そのものの重要性の認識の低下、社会的に孤立している状況も見られることから、連携を一層強化するとともに、地域全体で子供を守り育てる環境づくりを地域の教育資源（人・自然・施設）等を活用しながら取り組み、また、積極的な情報発信を高め、家庭や地域社会の教育力の向上に努める必要があります。

地域ごとの課題解決に積極的に関わり、町民が主体的に考え、協働により解決していくための仕組みづくりを進めるため、地域づくり振興会を設置し、また、地域づくり支援員を配置するなどの取組みを始め6年間経過しました。取り組みしている地域においては、地域差はあるものの一定の成果が見られておりますので、継続的な取組にするためにも次世代を担うリーダーの育成と併せ、より一層この活動が活発化するよう努めていきます。

#### ②文化振興の推進

生涯を通じて、文化に親しみ、心のゆとりや潤いにつながる環境づくりを進めるため、地域に根ざした自主・自発的な文化活動を促進、また、町民が文化活動や芸術鑑賞等の文化に触れる機会の提供に努めてきました。

各文化団体においては、会員の高齢化、後継者不足などから指導者の養成やリーダーの発掘などは、以前より見られていた課題ではありますが、解決までには至っておりません。

一方、町民有志による郷土資料保存サークルとともに、郷土の歴史や文化、失われつつある生活民具（記憶等を含む）などの収集・保存・活用への取り組みを、共に進める上で大きな期待を寄せています。

読書は、子供の成長にとって豊かな情操や思考力・創造力などを養うために欠かせないものであり、豊富で良質な読書機会を提供するため、ふれあいの森情報館を中心に読書活動を進めてきました。

ふれあいの森情報館は、情報館友の会との協働により運営することで、常に町民目線での読書活動に心がけ、身近な存在としてその地位を確立していますが、利用者数が減少傾向にあり、また、一般町民などの利用者の固定化などの課題が見られますので、情報受発信の拠点としての機能充実へ意識を持ち続け、

情報館の管理運営に努める必要があります。

ブナセンターは、博物館的施設として長年、町の自然・文化・歴史等の情報を収集、発信、体験等をする役割を担ってきました。これからも、町外者の皆さんに訪れていただくためには、単独の取組ではなく、町内で活動しているぶなの森自然学校等の自然に係る団体・個人とのネットワークづくりを重ね、共同する力を養う必要があります。

### ③生涯スポーツの振興と健康づくり

スポーツは、あらゆる活動の源である健康な体力づくりであると同時に、青少年の健全育成や地域コミュニティの振興に大きな役割を果たしており、子供から高齢者までが様々なスポーツに親しみ、楽しむことができるよう関係団体と連携しながら各種事業の実施に努めてきました。

参加者が固定化しつつあるという課題があることから、指導者の育成、指導力の向上を図るとともに、町民が参加しやすい環境づくりや自然を活用するなど新たな視点からの事業展開、多世代の層のスポーツ人口の拡大、体育館整備後の多様な利用の推進等に努める必要があります。

キャンプ場は、交流施設として多くの町外者が訪れているが、町民の利用を図り、町民にとっても親しみある施設の一つになるよう、接客サービスの向上も含めた取組が望まれます。

## (4) まとめ

平成27年度黒松内町教育委員会が実施した主な事務・事業を全般的に見ると、教育行政に関係する皆様・団体等のご協力もあり、点検の結果、ほとんどの事業が計画どおりに進めることができ、事業効果としても一定の成果が得られたものと評価しています。

しかし、いずれの事務・事業においても、人口減少や少子高齢化等の現状の中で、多様な課題を抱えていることから、この事務・事業の点検及び評価をとおして、常に事業効果や改善点などを明らかにするとともに、将来の望ましい教育行政を展望し、今後の政策展開につなげてまいりたいと考えています。

また、学校現場では学校運営協議会設置や小中一貫教育の推進が、教育委員会及び学校にその取組みが強く求められています。

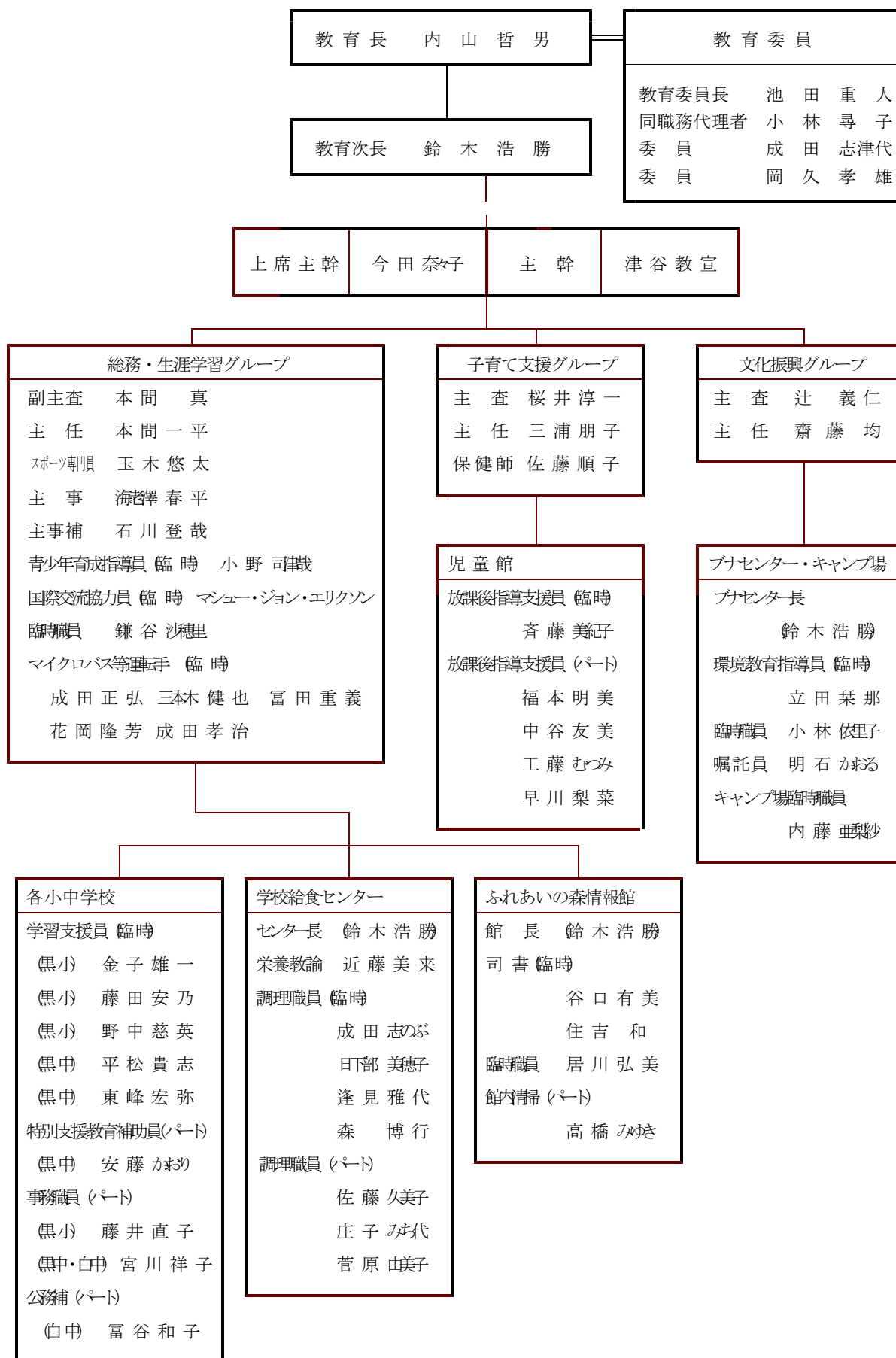
以上、平成27年度教育行政執行方針に沿って、事務・事業の総括責任者としての全体評価といたします。

平成28年9月

黒松内町教育委員会  
教育長 内山 哲 男

# 参 考 资 料

# 1 教育委員会組織機構図 (平成27年4月1日現在)



## 2 教育関係予算の状況（当初予算）

平成27年度における教育予算の総額は346,040千円であり、町の一般会計全体に占める割合は8.9%で、前年度比126,825千円の増額となっている。

これは、保健福祉課及び環境政策課からの業務追加分の予算104,550千円が皆増になっていること、体育館建築費23,679千円が主な理由である。

(単位：千円)

予算科目（項・目）		27年度予算	26年度予算	比較	備考
児童福祉費	児童福祉総務費	69,888	—	皆増	前保健福祉課予算
保健福祉費	保健活動費	4,251	—	皆増	前保健福祉課予算
教育総務費	教育委員会費	1,263	1,286	△23	
	事務局費	28,411	34,362	△5,951	
	スクールバス管理費	11,857	9,581	2,276	
	小計	41,531	45,229	△3,698	
小学校費	学校管理費	24,344	25,153	△809	
	教育振興費	3,337	3,551	△214	
	小計	27,681	28,704	△1,023	
中学校費	学校管理費	28,330	28,320	10	
	教育振興費	10,842	7,641	3,201	
	小計	39,172	35,961	3,211	
社会教育費	社会教育総務費	9,077	9,228	△151	
	総合町民センター費	9,969	14,359	△4,390	
	情報館管理費	15,908	15,782	126	
	生涯学習館管理費	3,685	4,514	△829	
	文化財保護費	209	207	2	
	ブナセンター費	20,432	—	皆増	前環境政策課予算
	子育て支援費	2,243	1,945	298	
	放課後子ども活動費	2,631	2,631	0	
	地域づくり活動費	4,747	7,392	△2,645	
	小計	68,901	56,058	12,843	
保健体育費	保健体育総務費	9,462	10,118	△656	
	体育施設費	26,656	18,811	7,845	
	体育館建築費	23,679	—	皆増	新設

(単位：千円)

予 算 科 目 (項・目)	27年度予算	26年度予算	比 較	備 考
学 校 給 食 費	24,840	24,334	506	
キャンプ場管理費	9,979	—	皆 増	前環境政策課予算
小 計	94,616	53,263	41,353	
総 合 計	346,040	219,215	126,825	

### 3 学校の児童生徒・教職員数

(1) 児童生徒数（4月1日現在）

（単位：人）

学 校 名		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
黒松内小学校	H 25	17	21	31	28	18	20	135
	H 26	20	18	22	32	26	21	139
	H 27	24	20	15	20	32	27	138
白井川小学校	H 25	2	3	1	1	2	0	9
	H 26	0	2	3	1	3	1	10
	H 27	0	0	2	3	1	3	9
小学校 計	H 25	19	24	32	29	20	20	144
	H 26	20	20	25	33	29	22	149
	H 27	24	20	17	23	33	30	147
黒松内中学校	H 25	17	24	38	/	/	/	79
	H 26	23	24	26	/	/	/	73
	H 27	19	26	30	/	/	/	75
白井川中学校	H 25	2	3	3	/	/	/	8
	H 26	0	1	4	/	/	/	5
	H 27	1	0	1	/	/	/	2
中学校 計	H 25	19	27	41	/	/	/	87
	H 26	23	25	30	/	/	/	78
	H 27	20	26	31	/	/	/	77
総 合 計	H 25	/	/	/	/	/	/	231
	H 26	/	/	/	/	/	/	227
	H 27	/	/	/	/	/	/	224

(2) 教職員数（4月1日現在）

※（ ）内は産休又は育休の職員数、外数（単位：人）

学 校 名		教職員	養 護	事 務	栄 養	期限付	町職員	計
黒松内小学校	H 25	15	1	1	1	—	2	20
	H 26	16(1)	1	1	—	2	1	21(1)
	H 27	15(1)	1	1	1	—	3	21(1)
白井川小学校	H 25	4(1)	—	—	—	3	—	7(1)
	H 26	2(2)	—	—	—	2	1	5(2)
	H 27	4(1)	—	—	—	3	—	7(1)
小学校 計	H 25	19(1)	1	1	1	3	2	27(1)
	H 26	18(3)	1	1	—	4	2	26(3)
	H 27	19(2)	1	1	1	3	3	28(2)
黒松内中学校	H 25	13	1	1	—	1	2	18
	H 26	13	1	1	—	2	2	19
	H 27	14	1	1	—	—	2	18
白井川中学校	H 25	5(1)	—	—	—	1	—	6(1)
	H 26	3(1)	—	—	—	1	—	4(1)
	H 27	3	—	—	—	1	—	4
中学校 計	H 25	18(1)	1	1	—	2	2	24(1)
	H 26	16(1)	1	1	—	3	2	23(1)
	H 27	17	1	1	—	1	2	22
総 合 計	H 25	37(2)	2	2	1	5	4	51(2)
	H 26	34(4)	2	2	—	7	4	49(4)
	H 27	36(2)	2	2	1	4	5	50(2)

#### 4 各施設利用者数

(1) 総合町民センター (平成26年度は5月～3月まで役場仮庁舎として、青年研修室及び婦人研修室、老人研修室を使用、ホールに配置した英語教室は、青年研修室として集計、平成27年度の英語教室の件数は未集計) (単位：件・人)

区 分	大ホール		配膳室		控室		青年研修室		婦人研修室	
	件数	利用者	件数	利用者	件数	利用者	件数	利用者	件数	利用者
H25年度	169	4,404	9	120	89	1,344	179	1,650	192	2,067
H26年度	110	6,987	17	250	234	4,010	151	1,406	24	293
H27年度	89	7,781	11	350	125	2,316	46	2,283	176	1,638

区 分	生涯研修室		老人研修室		調理実習室		合 計	
	件数	利用者	件数	利用者	件数	利用者		
H25年度	179	1,738	239	6,592	41	630	1,097	18,545
H26年度	50	2,389	2	48	29	483	617	15,866
H27年度	92	2,499	191	5,538	54	688	784	23,093

(2) ふれあいの森情報館 (単位：人)

区 分	開館日数	入館者数	蔵書数	貸出冊数		登録者数		
				総数	1日平均	町内	町外	合計
H25年度	292	11,906	29,538	21,523	73.7	2,097	630	2,727
H26年度	291	11,277	31,549	21,809	74.9	2,185	673	2,858
H27年度	289	9,839	32,618	19,538	67.6	2,269	716	2,985

(3) ミニビジターセンター (単位：人)

区 分		町内		町外		町内 団体	町外 団体	その他	合計
		大人	小人	大人	小人				
H25年度	宿泊研修	39	—	68	—	30	84	—	221
	日帰研修	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	39	—	68	—	30	84	—	221
H26年度	宿泊研修	—	—	92	—	10	117	—	219
	日帰研修	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	92	—	10	117	—	219
H27年度	宿泊研修	10	—	44	—	—	82	—	136
	日帰研修	—	—	—	—	—	10	—	10
	計	10	—	44	—	—	92	—	146



## (4) 各運動施設

(単位：人)

区 分		利 用 者 数		合 計	備 考
		町 内	町 外		
野 球 場	H25年度	1,661	781	2,442	
	H26年度	1,716	2,230	3,946	
	H27年度	3,945	352	4,297	
多 目 的 広 場	H25年度	3,113	185	3,298	
	H26年度	6,135	55	6,190	
	H27年度	6,640	0	6,640	
テニスコート	H25年度	14	10	24	
	H26年度	37	10	47	
	H27年度	16	42	58	
町 民 プ ー ル	H25年度	3,263	70	3,333	
	H26年度	2,945	176	3,121	
	H27年度	3,017	170	3,187	
パークゴルフ場 (歌 才)	H25年度	2,255	826	3,081	利用料納入者
	H26年度	905	1,034	1,939	
	H27年度	1,227	1,854	3,081	
パークゴルフ場 (道の駅)	H25年度	664	953	1,617	利用料納入者
	H26年度	616	1,693	2,309	
	H27年度	455	1,257	1,712	
東 山 ス キ ー 場	H25年度	-	-	1,208	
	H26年度	-	-	1,167	
	H27年度	-	-	938	
町 民 体 育 館	H25年度	-	-	18,882	
	H26年度	-	-	17,659	
	H27年度	-	-	16,574	

## (5) ブナセンター

(単位：人)

区 分	ブナホール	陶工房	木工房	食工房	その他	イベント	合 計
H25年度	5,227	1,014	708	395	8,305	795	16,444
H26年度	4,393	909	826	383	6,943	2,773	16,227
H27年度	5,457	888	837	470	9,336	3,578	20,566

※イベントは、野外活動を含む

## (6) オートキャンプ場

(単位：人、件)

区 分	のべ実利用者数	使用料人数	使用料件数	備 考
H25年度	4,602	2,742	1,016	
H26年度	4,535	2,978	993	
H27年度	5,048	2,984	1,065	

※使用料人数と使用料件数は、使用料の対象を集計